

令和5年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]		事業箇所	南都留郡西桂町倉見	地区名	倉見下沢-1	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		④特記事項 (関連事業概要等) ・なし			
	H25~H30	H25~R5	H25~R10					
総事業費	200 百万円	- 百万円	- 百万円					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果					⑤これまでの評価状況 ・なし			
<p>渓床勾配1/3.5の急峻な土石流危険渓流である。流域面積は0.05km²を呈し、流域内には崩壊による不安定土砂が河床に厚く堆積し、渓岸浸食も見られる。保全対象は、人家24戸のほか中央自動車道、県道であり、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測されるため、土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。</p> <p>□主要目標 ○土石流被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害実績 無 土砂整備率 0% < 70%未満 ※ 重要公共施設の有無 有 (中央自動車道、県道) <p>(保全対象=人家24戸、自動車道228m、県道505m) ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○なし</p> <p>□副次効果 ○被災時の被害波及の防止</p>								
②事業概要								
砂防堰堤 1基 H=14.5m L=81.0m 渓流保全工 L=150m								
(2) 事業位置図等								
③全体計画								
		令和4年度まで	令和5年度 (評価実施年度)	令和6年度以降				
現計画	工事内容	堰堤工1基 渓流保全工 測試一式 用地補償一式	渓流保全工					
	事業費	185 百万円	15 百万円					
変更計画	工事内容	堰堤工1基 渓流保全工 測試一式 用地補償一式	堰堤工1基 渓流保全工 用地補償一式	渓流保全工 用地補償一式				
	事業費	116 百万円	15 百万円	69 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

2.評価シート(1)

(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

①地域・住民の意向状況

近年、集中豪雨が頻発する中、住民の防災意識が高く、早期対策の要望はさらに強まっている。

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」(令和3年改定)
- ・「山梨県強靱化計画」(令和2年3月改定)
- ・「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」(令和3年3月改定)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

(2) 評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		200	百万円	200	百万円
工期		H25~H30		H25~R10	
評価基準年		H25		R5	
経済 効 率 性	費用	182	百万円	143	百万円
	建設費	182	百万円	143	百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他(百万円		百万円
	便益	1903	百万円	1196	百万円
	一般資産被害防止額	425	百万円	267	百万円
	公共土木施設等被害防止額	89	百万円	56	百万円
	その他※	1389	百万円	873	百万円
			百万円		百万円
	B/C		10.50		8.4

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損害)

(3) これまでの計画変更等の概要

一部の地権者より事業の理解が得られず、地元調整に不測の日数を要したことにより計画期間を5年延長し、令和5年度までとした。

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R5年度進捗率(現計画)100%→(実績)66%→(変更計画)66%

②進捗率実績が計画と相違している理由
溪流保全工計画地に取得困難地があることが分かり、計画変更が必要となった。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
	百万円 増減	
	百万円 増減	
合計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定
計画による一部地権者の同意に不測の日数を要したため期間が延長となった。継続して用地交渉をおこなったところ、すべての地権者から計画の同意を得られ、令和5年度には、用地取得が完了したことから、順次工事を実施し、令和10年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
なし

(5) 環境負荷等への配慮

掘削法面等に緑化等を行い、環境負荷軽減に配慮する。

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()

(理由)
一部地権者の同意に不測の日数を要したが、継続的に交渉を行い用地取得が完了したことから、今後も引き続き事業進捗を図るべく、工事の実施に努め、整備効果が発現できるよう、変更計画に基づき、令和10年度の完成を予定している。

〇別表-進捗率(事業費ベース)

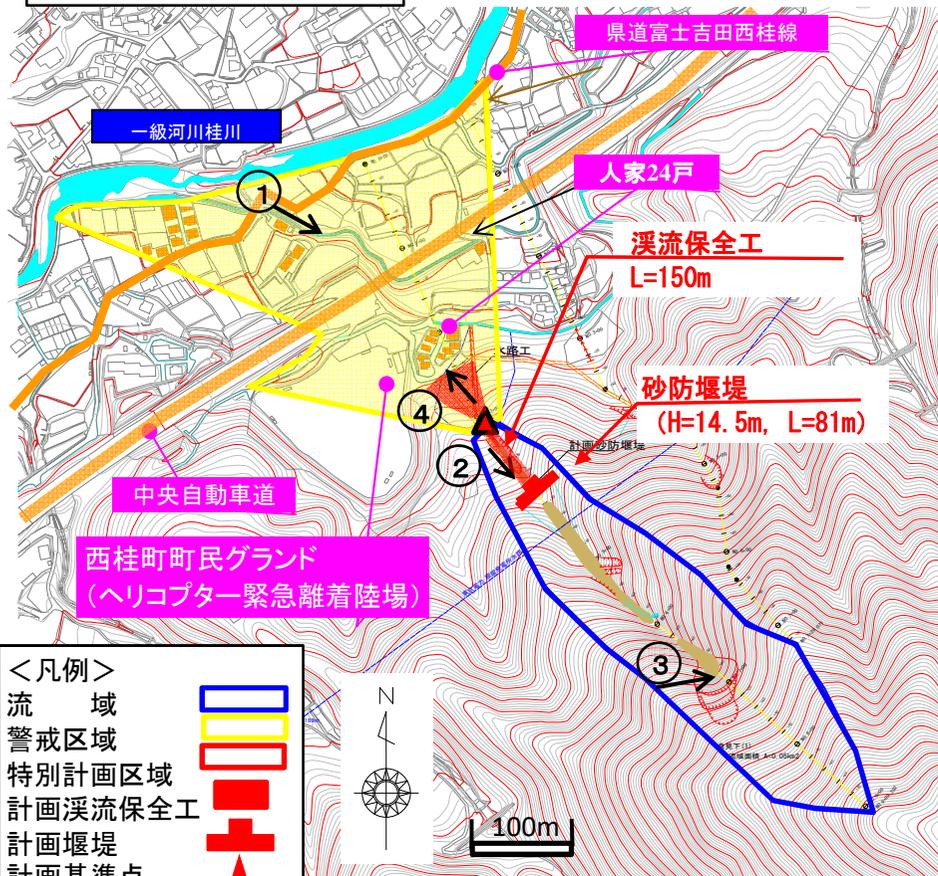
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H25	*H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	*R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
現	計画	5%	10%	25%	40%	55%	63%	70%	78%	85%	93%	100%							
	実績	5%	10%	11%	12%	13%	21%	31%	41%	51%	58%	66%							
	変更計画											66%	73%	81%	88%	96%	100%		

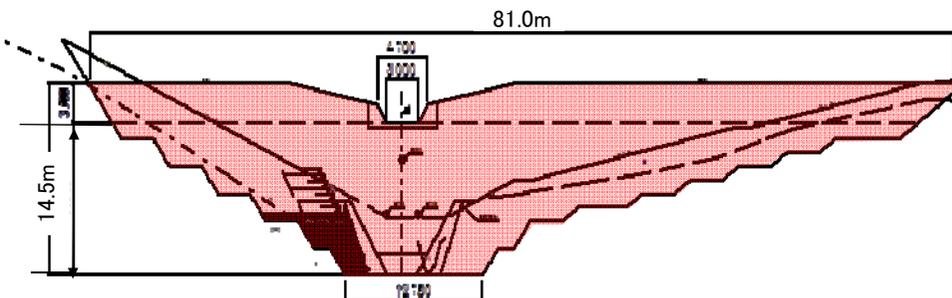
*事業着手年度
*R5年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

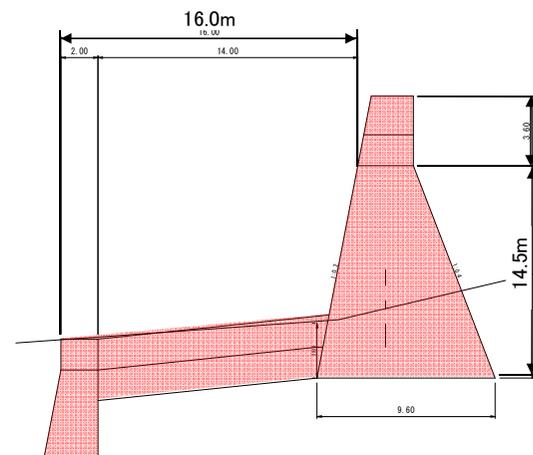
【 流域平面図 】



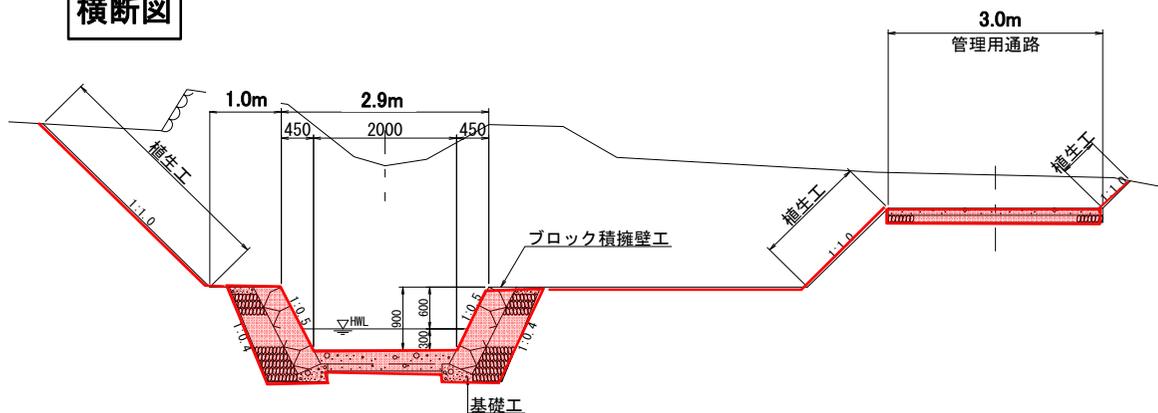
正面図



側面図



横断面



3. 添付資料シート (2)

① 保全対象 (自動車道、県道)



③ H23. 9 土砂流出箇所



② 荒廃状況



④ 保全対象 (倉見地区人家)



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	10,000	測量調査設計（本堤）	5.0
H26	10,000	測量調査設計（溪流保全工）	10.0
H27	2,000	用地測量調査（本堤）	11.0
H28	2,000	用地測量調査（溪流保全工）	12.0
H29	2,000	用地補償	13.0
H30	15,000	砂防堰堤工事、用地補償	21.0
R1	20,000	砂防堰堤工事、詳細設計（溪流保全工）、用地補償	31.0
R2	20,000	砂防堰堤工事、用地測量調査、用地補償	41.0
R3	15,000	砂防堰堤工事、用地補償	51.0
R4	20,000	砂防堰堤工事、修正設計（溪流保全工）、用地測量調査	58.0
R5	15,000	砂防堰堤工事、用地補償	66.0
R6	15,000	溪流保全工工事	73.0
R7	15,000	溪流保全工工事	81.0
R8	15,000	溪流保全工工事	88.0
R9	15,000	溪流保全工工事	96.0
R10	9,000	溪流保全工工事	100.0
合計	200,000		